

**男女共同参画社会に関するアンケート調査結果概要**

調査目的 : 男女共同参画プラン改定にあたり、「男女共同参画社会」に関する住民の意識調査を行い、現状を把握する。

調査方法 : 町が隔年で実施している「すみよいまちづくりアンケート」と併せて実施。

調査対象 : 町内在住の20歳以上の男女3,000人

抽出方法 : 無作為抽出(ただし、男女同数)

調査期間 : 発送 平成22年 1月 28日(木)、29日(金)  
回収期限 平成22年2月12日(金)

配布回収方法 : 郵送による

回収数 : 1169通

回収率 : 39%

問1 あなたの就業形態はどれですか。

	男性	女性
正規の従業員	43.2%	14.7%
自営業	14.1%	4.8%
パートタイマー	2.5%	24.0%
アルバイト（在宅ワークも含む）	3.3%	2.9%
契約社員	3.9%	2.1%
派遣労働者	0.8%	1.1%
内職	0.0%	1.0%
無職	27.9%	42.8%
その他	4.3%	6.6%

※回答者のうち、男性では「正規の従業員」、女性では「パートタイマー」の比率が高かった。

問2 女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。

	男性	女性
女性は職業を持たない方がよい	1.7%	2.7%
結婚するまでは職業を持つ方がよい	4.6%	3.5%
子どもができるまでは職業を持つ方がよい	7.1%	4.1%
結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい	32.8%	32.5%
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業（パート）を持つ方がよい	24.3%	31.7%
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業（常勤）を持つ方がよい	19.9%	15.2%
わからない	9.6%	10.3%

※男性・女性とも「結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい」と考える人が最も多く、女性では、子育てで一旦仕事をやめ、子どもが大きくなったらパートで働こうと考えている人が、これとほぼ同率となっている。

問3 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。

男性			女性		
1	育児・介護休業等が取りやすい環境の整備	83.2%	1	保育・介護の施設やサービスの充実	89.8%
2	保育・介護の施設やサービスの充実	79.1%	2	育児・介護休業等が取りやすい環境の整備	86.9%
3	女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力	76.2%	3	女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力	86.6%
4	女性自身の自覚と意欲	74.5%	4	男女が協力して育児・介護等を担うという意識	79.3%
5	結婚、出産、育児、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実	72.9%	5	女性自身の自覚と意欲	79.3%
6	男女が協力して育児・介護等を担うという意識	68.7%	6	結婚、出産、育児、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実	75.9%
7	フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境の整備	57.7%	7	フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境の整備	62.7%

※「必要」と思うものの上位3つは男性・女性とも変わらないが、女性は休暇等の職場の環境整備よりも保育・介護のための施設やサービスの充実を望んでいる。

「男女が協力して育児・介護等を担うという意識」は男性の方が必要と思う割合が低い。

問4 女性が再就職しやすくするためにどのようなことが必要だと思いますか。

男性			女性		
1	育児・介護休業等が取りやすい環境の整備	83.9%	1	育児・介護休業等が取りやすい環境の整備	89.3%
2	保育・介護の施設やサービスの充実	78.0%	2	保育・介護の施設やサービスの充実	89.1%
3	女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力	76.0%	3	女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力	86.9%
4	結婚、出産、育児、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実	74.8%	4	男女が協力して育児・介護等を担うという意識	83.7%
5	男女が協力して育児・介護等を担うという意識	69.4%	5	結婚、出産、育児、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実	79.8%
6	フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境の整備	65.3%	6	フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境の整備	70.9%
7	再就職のための研修や職業訓練の充実	54.3%	7	再就職のための研修や職業訓練の充実	62.8%

※こちらの場合も「男女が協力して育児・介護等を担うという意識」は男性の方が必要と思う割合が低い。

問5 「仕事と生活の調和（ワークライフ・バランス）」について知っていますか。

	男性	女性
聞いたことがあり、内容も知っている	17.1%	12.1%
聞いたことはあるが、内容は知らない	34.4%	31.8%
聞いたことはなく、内容も知らない	48.5%	56.1%

※男性・女性とも80%以上の人が、ワークライフ・バランスについてどういう内容かを知らない。

問6 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方の理想と現実について。

理 想	男性	女性
「仕事」を優先したい	4.9%	1.8%
「家庭生活」を優先したい	20.4%	27.3%
「地域・個人の生活」を優先したい	3.6%	1.7%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	38.9%	28.6%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	4.5%	3.0%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	6.5%	10.1%
優先順位はつけられない	18.6%	23.6%
わからない	2.7%	3.9%

現 実	男性	女性
「仕事」を優先している	39.9%	18.8%
「家庭生活」を優先している	13.4%	35.6%
「地域・個人の生活」を優先している	3.9%	1.6%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	17.1%	17.0%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	2.8%	2.6%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	3.0%	5.7%
優先順位はつけられない	13.4%	13.5%
わからない	6.7%	5.2%

※男性では「仕事」と「家庭生活」をともに優先することを理想とする人が最も多かったが、女性では「仕事」より「家庭生活」の優先を理想とする人が、ともに優先したい人とほぼ同じぐらいの割合となった。

しかし、現実としては、男性の場合は「仕事」を優先している人が約40%と最も多く、女性では約35%が「家庭生活」を優先している。



問7 男女の平等感について、次の場面で男女が平等になっていると思いますか。

男 性	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
家庭生活の中で	19.8%	25.7%	26.4%	12.7%	11.4%	4.1%
職場の中で	13.8%	14.3%	24.1%	19.6%	21.0%	7.2%
学校教育の場で	20.3%	21.5%	22.4%	6.8%	7.1%	21.9%
政治の場で	10.9%	16.7%	24.1%	19.0%	20.2%	9.0%
地域・社会活動の場で	12.5%	20.6%	30.0%	16.4%	12.7%	7.9%
法律や制度の面で	14.1%	21.8%	26.4%	16.4%	13.2%	8.1%
社会通念、慣習、 しきたりなどで	7.1%	11.8%	26.0%	24.4%	25.6%	5.1%
社会全体で	7.4%	15.4%	29.0%	25.1%	19.8%	3.2%

女 性	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
家庭生活の中で	15.8%	20.7%	21.5%	15.1%	24.8%	2.1%
職場の中で	7.0%	12.3%	22.6%	15.7%	30.0%	12.5%
学校教育の場で	12.4%	18.1%	29.2%	7.9%	7.6%	24.8%
政治の場で	4.5%	9.3%	22.3%	20.3%	30.1%	13.5%
地域・社会活動の場で	6.5%	14.6%	30.1%	17.1%	18.4%	13.3%
法律や制度の面で	6.9%	11.9%	27.4%	19.5%	19.4%	14.9%
社会通念、慣習、 しきたりなどで	3.9%	5.7%	17.8%	26.5%	38.4%	7.7%
社会全体で	3.5%	7.7%	23.6%	26.2%	32.0%	6.9%

※男性は「どちらともいえない」の比率がどの項目も高いが、それと比較して「家庭生活」でどちらかといえば平等と思っている人が近い比率で存在する。  
また、「社会通念、慣習、しきたりなど」の項目においては、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と同様な比率となっている。

女性では、「家庭生活」、「職場」、「政治の場」、「社会通念、慣習、しきたりなど」において、「そう  
 思わない」の比率が一番高く、男性との感じ方の違いが見られる。

問8 女性の能力は十分に活用されているか

男 性	そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
家庭生活の中で	44.5%	31.3%	13.1%	3.0%	3.5%	4.6%
職場の中で	12.7%	25.5%	34.2%	13.4%	7.8%	6.4%
学校教育の場で	16.8%	22.4%	31.7%	5.3%	4.1%	19.7%
政治の場で	8.5%	17.8%	35.5%	15.9%	10.9%	11.4%
地域・社会活動の場で	11.5%	24.9%	36.2%	12.9%	5.9%	8.5%
法律や制度の面で	10.6%	17.7%	35.9%	16.3%	7.8%	11.6%
社会通念、慣習、 しきたりなどで	5.9%	14.9%	33.9%	21.6%	15.6%	8.1%
社会全体で	7.3%	18.6%	37.4%	19.8%	11.1%	5.9%

女 性	そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
家庭生活の中で	41.9%	35.0%	13.2%	3.4%	2.9%	3.6%
職場の中で	12.9%	22.7%	31.3%	12.9%	7.2%	12.9%
学校教育の場で	11.9%	18.2%	35.8%	5.3%	3.5%	25.4%
政治の場で	3.9%	11.9%	32.8%	20.1%	13.5%	17.6%
地域・社会活動の場で	7.5%	16.8%	36.2%	15.6%	9.0%	14.9%
法律や制度の面で	4.1%	11.6%	35.1%	19.7%	10.9%	18.6%
社会通念、慣習、 しきたりなどで	4.6%	12.3%	29.2%	20.9%	20.5%	12.5%
社会全体で	3.2%	12.5%	34.8%	20.0%	16.9%	12.7%

※男性、女性とも「どちらともいえない」の比率がどの項目も高い。

問9 職場・地域・学校などでのセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）やパワーハラスメント（パワハラ）、ドメスティック・バイオレンス（DV）について

	男性	女性
セクハラを受けたことがある	3. 2%	15. 7%
パワハラを受けたことがある	13. 5%	14. 4%
DVを受けたことがある	1. 2%	6. 4%
セクハラをしたことがある	1. 2%	0. 1%
パワハラをしたことがある	2. 4%	0. 4%
DVをしたことがある	1. 2%	0. 3%
身近に見聞きしたことがある	23. 6%	26. 5%
身近な人から相談を受けたことがある	9. 9%	12. 9%
自分の周りには受けた人はいないと思う	34. 1%	36. 5%

※セクハラ、パワハラ、DVそれぞれについて、「身近に見聞きしたことがある」とした人が男女とも20%以上あった。

また、「セクハラを受けたことがある」女性が約16%、「パワハラを受けたことがある」男性、女性が約13~14%あった。

問10 男女共同参画社会を実現するために、学校や社会教育の場等でどのような取り組みが必要だと思いますか。

男性			女性		
1	教育に携わる人が男女共同参画を理解するための意識啓発	58. 5%	1	教育現場での相談体制の充実	66. 5%
2	性別にとらわれずに社会の様々な分野に参加可能な学習機会の提供	58. 5%	2	性別にとらわれずに社会の様々な分野に参加可能な学習機会の提供	63. 0%
3	教育現場での相談体制の充実	57. 3%	3	教育に携わる人が男女共同参画を理解するための意識啓発	62. 3%
4	幼い（小さい）頃から自立の意識を育み、男女平等を推進する教育	53. 5%	4	女性の人権の観点からDVなどの予防教育	55. 7%
5	女性の人権の観点からDVなどの予防教育	48. 7%	5	幼い（小さい）頃から自立の意識を育み、男女平等を推進する教育	51. 6%
6	性教育の充実	41. 9%	6	性教育の充実	50. 3%

※男性は教育関係者の男女共同参画への理解をまず重視しているが、女性は相談体制を重視している。

問 11 今後、寒川町の男女共同参画社会の実現のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

男 性			女 性		
1	子育て支援の充実	61.9%	1	子育て支援の充実	69.7%
2	女性の就業支援の充実	54.5%	2	女性の就業支援の充実	68.5%
3	学校における男女平等教育の推進	49.1%	3	介護支援への男性参加の促進	62.8%
4	職場における男女平等意識の推進	48.0%	4	男性の家事・育児への参加の促進	60.4%
5	介護支援への男性参加の促進	47.3%	5	職場における男女平等意識の推進	57.0%
6	男女双方への意識啓発の充実	46.3%	6	女性への相談体制の充実	55.0%
7	女性への相談体制の充実	46.2%	7	男女双方への意識啓発の充実	54.3%
8	男性の家事・育児への参加の促進	46.1%	8	学校における男女平等教育の推進	47.0%
9	地域や社会で活躍する女性のリーダー育成	46.0%	9	地域や社会で活躍する女性のリーダー育成	46.1%

※男性、女性とも上位の2つは同じだが、これに続くものとしては、男性は学校や職場での男女平等教育・意識の推進を挙げ、女性の方は家事・育児・介護への男性参加を挙げている。

男 性			女 性		
1	子育て支援の充実	61.9%	1	子育て支援の充実	69.7%
2	女性の就業支援の充実	54.5%	2	女性の就業支援の充実	68.5%
3	学校における男女平等教育の推進	49.1%	3	介護支援への男性参加の促進	62.8%
4	職場における男女平等意識の推進	48.0%	4	男性の家事・育児への参加の促進	60.4%
5	介護支援への男性参加の促進	47.3%	5	職場における男女平等意識の推進	57.0%
6	男女双方への意識啓発の充実	46.3%	6	女性への相談体制の充実	55.0%
7	女性への相談体制の充実	46.2%	7	男女双方への意識啓発の充実	54.3%
8	男性の家事・育児への参加の促進	46.1%	8	学校における男女平等教育の推進	47.0%
9	地域や社会で活躍する女性のリーダー育成	46.0%	9	地域や社会で活躍する女性のリーダー育成	46.1%